

日本版PIC研修会のご案内

日本PIC研究会

昨年度の実践事例研修会や講習会では、様々な場でPICシンボルが活用されている報告がありました。PICシンボルの原著者であるマハラージ氏は、「どのように表現するかではなく、“最も効率よく伝わるにはどうしたらよいか”が大事になってきます。」と語っておられます。今回は、PICシンボルを、どのような人に、どのような形で使うと効率的に伝わるのか、ということテーマにしました。特別支援学校における事例、わかりやすい文章作成のためのガイドライン、ハイテク&ローテクの教材紹介を通して、皆さんとっしょに考えます。また、現場で必要なシンボルを新たに作成していくために、ご意見もいただきたいと考えています。是非、いっしょに情報交換しながら学びあいましょう。

• 2012年
9月8日(土)
13:00~16:15

日時



• 同志社大学
室町キャンパス
寒梅館204号室
(裏面の案内図をご覧ください)

場所



• コミュニケーション
• 発達段階
• 伝える

キーワード



「個の実態(発達段階)に合ったコミュニケーションとは」

話題提供: 榎場 政晴(大阪府立茨木支援学校教諭)

「PICシンボルを使用した教材の紹介」

話題提供: 佐藤 八郎(フリー言語聴覚士) 塩見 ちあき(株式会社コムフレンド)
永野 建一(元 京都市立東総合支援学校教諭)
榎場 政晴(大阪府立茨木支援学校教諭)
岡田 さゆり(滋賀県立野洲養護学校教諭)

「どのような語彙のPICシンボルが必要か:新しく制作するための意見交流」

話題提供: 藤澤 和子(京都府立南山城支援学校教諭)

「情報バリアフリーのためのわかりやすい素材はどうあるべきか
ーPICを使用した文章作成についてー」

話題提供: 小林 美津江(大阪府立金剛コロニー職員)



申し込み

参加費 会員 1000円 非会員 2000円 (当日お支払いください。) 定員 30名

申し込み先 メール: picsymbol@gmail.com

添付の申し込みフォームがある方は、必要事項を記入の上、お申し込みください。申し込みフォームがない方は、氏名、住所、電話番号、メールアドレス、所属、会員か非会員かを明記の上、お申し込みください。こちらから受け付けの確認のメールを送らせていただきます。

